

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習 1 C											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	佐藤 知美			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
デザイナーとしてメーカー、デザイン事務所に勤務。 国外にてマスター取得後、事務所を設立。 プロダクトデザインを中心にデザイン全般を制作。											
授業概要											
この科目では、3DCADソフトRhinoceorsを使い、2D図面、3Dモデリング等の基礎操作を修得する。 仕事現場で実践的に身につけておくべき基本的な操作方法から、3DCADの知識と技術を学び、正しい操作を身に着ける。 モデリング、レンダリングを経て、自分のデザインを人に伝える効果的な表現方法を獲得する。											
到達目標											
Rhinoceors上で、3Dデータの作成ができることを基本的な目標とする。 3Dのモデリング、2D図面作図、レンダリング、加工機への出力、プレゼンテーションに繋がる有効なデータと画像の作成できることを目指す。さらには、3Dプリンターとレーザー加工機での出力加工と一連の流れを理解し学習したい。 3DCADの基本操作の習得して、デザイン業界で仕事をするために必要な技術や知識を向上させる。完成品を表現するだけではなく、自身のデザインを3D上でモデリング、検討、改善するツールとして活用する技術を習得することを目標とする。											
授業方法											
前半はテキストとデモンストレーションを元に基本的なソフトの操作方法と動作を学ぶ。 後半は演習問題を中心とし、実践的に図面からモデリング、またはモデリングから完成した立体物の図面製作、レンダリングの流れに沿って完成度の高い3Dデータとデザインデータを作成する。 最終的には一貫したデザイン提案をできる3D技術を習得し、実践、活用できるようにする。											
成績評価方法											
課題完成度 40％ 提出課題完成度を総合的に評価する プレゼンテーション 40％ 制作物の発表方法、内容について評価する 平常点 20％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、学生に基礎的な3Dデータ作成から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。 デザインの方法、表現を知り、今後、現場で求められるデザイン力を、有効な3Dツールと共に修得する実習になります。 理由のない遅刻・欠席は認めない。 授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。 授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	基礎モデリング1 / 導入 3DCAD・Rhinoceors概要説明、3D使用例説明										
第2回	基礎モデリング2 / Rhinoceors基本操作説明 図面説明										
第3回	基礎モデリング3 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング										
第4回	基礎モデリング4 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング										
第5回	基礎モデリング5 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 1 C	
第6回	基礎モデリング6 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング
第7回	2D図面作成 展開ツール
第8回	基礎モデリング演習 1 (回転体デザイン)
第9回	基礎モデリング演習 2 (ロフト体デザイン)
第10回	基礎モデリング演習 3 (複合体デザイン)
第11回	基礎レンダリング演習 1
第12回	基礎レンダリング演習 2
第13回	基礎レンダリング演習 3
第14回	プレゼンテーションデータ作成
第15回	プレゼンテーション まとめ